

教えて、玉ちゃん!

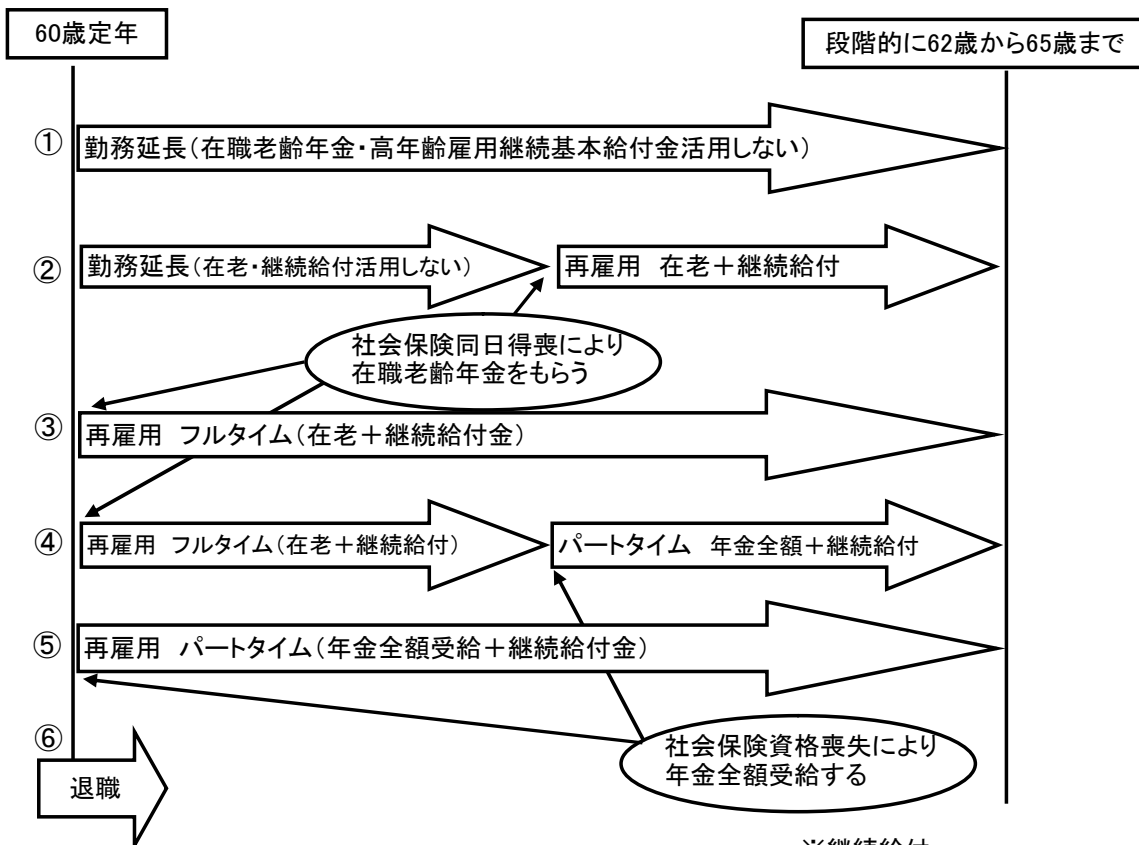
「〇〇って、よく分からないい~!？」



お任せください。  
「ややこしい話」を「やさしい言葉」で  
解説いたしましょう!

## 「60歳以後の賃金設計」 まずは働き方の検討を!

4月の「改正高齢者雇用安定法」施行以後、再雇用後の賃金設計についてよく質問を受けます。イメージ的には、定年前と比較してある程度下げることが分かるのだけど、実際、どれ位下げたら良いのか分からない。仕組みが理解できない。そういった声が少なくありません。問題は、60歳以後の働き方。賃金のシュミレーションをする前に、どんな働き方(=雇用パターン)を選ぶかがポイントです。それによって、受ける給付や、年金額、負担する保険料も変わってきます。今回は、継続雇用の基本パターンをいくつか紹介します。



上記のようにざっと挙げて、いろいろパターンが考えられます。一言で「継続雇用」と言っても、退職を伴うものか、伴わないものか。再雇用後、社会保険に適用されるか否か。そして、一番肝心なことは、会社の実情(仕事の中身や人員配置)はどうか。これらをいろいろ加味して、労働条件を決め、年金や雇用保険の継続給付を上手く組み合わせ、多様な雇用パターンを考えることが必要となってきます。